

(別紙4(2))

事業所名 JA愛知厚生連あつみの郷グループホーム

目標達成計画

作成日: 令和 4年 2月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	面会禁止期間が長引き、入居者様とご家族がゆっくり過ごす時間が持てず、不満や不安に繋がる可能性がある。	ご家族に詳細な情報がタイムリーに伝わる。	①オンライン面会を勧める。 ②オンライン以外の面会方法を検討する。 ③月に一度、担当者よりご家族に電話し、入居者の現状を伝えると共に、ご家族の要望等を確認する。 ④ホームでの状況が伝わるよう、たよりに写真や作品等を同封する。	12ヶ月
2	3	コロナ禍で認知症カフェの再開を見合わせており、再開についての検討が十分になされていない。	状況に応じて、認知症カフェを再開する。	①コロナ禍で認知症カフェを実施している事業所の情報収集を行う。 ②法人内で再開についての条件を確認する。 ③再開後の感染防止対策や内容について検討する。	12ヶ月
3	2	地域交流や日常生活、ホーム独自の取り組みが感染予防のため中止になる中、職員の活動に対する意識が薄れている。	「できること」に着目して意識的に活動する。	①見守り隊ね活動は、敷地周辺において人数を限定して行う。 ②移動販売車での買い物を継続する。 ③農高訪問は車窓からの見物とする。 ④散歩時は積極的に児童センターの中庭を通り、挨拶する。 ⑤クラブ活動を継続する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。